

令和8年度 公共交通関係予算について

人口減少社会の進展に伴い、運転士等の不足および公共交通機関の利用者の減少が危惧されている。現時点で手を打たなければ、運賃値上げや減便等に繋がり、更なる利用者の減少という悪循環に陥ることになる。そこで、それらの問題に迅速に対応するため、公共交通機関の利用促進や愛着の醸成に主眼を置いた予算編成を行った。公共交通対策費全体で、R7年度当初予算 2億3,138万円から、R8年度当初予算 2億7,447万円へ約4,600万円の増額。主な要因として、人件費等の高騰に伴うつつじバス運行委託増(約3,000万円)、ダイヤ改正に伴う時刻表等の増(約700万円)、新規・拡充事業の増(約500万円)、公共交通計画策定費(約600万円)。また、観光費でシェアサイクル費(1,220万円)や、スタンプラリー等の予算を計上したため、合計すると約6,000万円増額の予算編成となった。

〇つつじバス・タクシー・日本版ライドシェア関係

1 バス・タクシー運転士確保支援事業 【100万円】 **新**

内 容： 新規に大型二種免許・普通二種免許を取得し、市内のバス会社またはタクシー会社に就職した者に対し、二種免許証取得に要した費用を補助する。(すでに勤務しているものを含む。)

2 運転免許証返納者等タクシー運賃支援事業 【130万円】 **新**

内 容： 運転免許証の返納者や障がい者等に、タクシー協会が行っている運賃の1割引きに対して、その1/2を市内のタクシー会社に補助する。

3 バス・タクシー未来の担い手育成事業 【70万円】 **新**

内 容： 公共交通の利用促進および愛着の醸成を図るとともに、将来的な担い手育成のためにイベントを開催する。具体的には、こどもがつつじバスを泡だらけにして洗い放水して綺麗にする洗車体験、バス運転席体験、親がタクシーの運転手になり、家族が客となり乗車するタクシー運転手体験等のイベントを市役所前駐車場等で9/5(土)に開催予定

4 多様な交通手段検討事業 【257万円】

内 容： ①日本版ライドシェア(100万円)

G Oアプリ導入費用、運転士オペレーター等の費用助成

②河和田地区地域公共交通移行事業(150万円)

「ちょいボラ交通」に代わり、河和田地区まちづくり協議会を中心に運営する「かわだ支えあい交通」への移行経費

○福井鉄道・ハピラインふくい関係

1 レッサーパンダラッピング電車貸切ツアー 【30万円】

内 容： 令和7年度に引き続き、国際レッサーパンダーデー(R8.9.19(土))に合わせ、福井鉄道のフクラム(レッサーパンダラッピング電車)の貸切ツアーを行う。公募した小学生親子70人が北府駅まで乗車する。北府駅では、運転シミュレーター体験や車両整備体験等を行う。その後、西山動物園でレッサーパンダの夜間観察会を開催する。なお、レッサーパンダのラッピング電車の運行期間は、R10年3月までに延長する。

2 レッサーパンダラッピング電車貸切補助金 【30万円】 新

内 容： レッサーパンダラッピング電車を市内の団体や企業が貸切の場合に、半額相当の10万円を補助する。

3 鉄道ふくいフェスタ 2026in さばえ 【80万円】

内 容： 10月末に、JR西日本・ハピラインふくい・福井鉄道・えちぜん鉄道が合同で開催予定の「鉄道ふくいフェスタ 2026」に合わせて実施。福武線神明駅とハピラインふくい鯖江駅でイベントを開催し、両会場をつつじバスでつなぐ連携イベント

○その他

1 レッサーパンダラッピング電車 重ね捺しスタンプラリー 【50万円】 新

内 容： 道の駅、めがね会館、漆器会館、ハピラインふくい鯖江駅、福武線神明駅の5ヶ所にスタンプ台を置き、5ヶ所のスタンプを重ね捺しすると、レッサーパンダラッピング電車が完成するスタンプを作成する。それを観光協会で提示した方200名に抽選で特産品をプレゼントすることで、観光客の公共交通の利用促進を図る。

2 つつじバスノベルティ作成 【50万円】 新

内 容： プクプクシール 1,000枚

3 つつじまつり等での公共交通利用促進 新

内 容： つつじまつり期間の5/3~5/5限定の「福武線1日フリー切符」を1,500枚【500円・ベルお買物券200円付】を福鉄有人駅等で販売し、購入者がベルの駐車場に駐車し、電車利用でつつじまつりに来場するパーク&ライド。ハピラインふくい利用者はつつじバス乗車無料券を配布する。

4 京都駅観光PRでの公共交通紹介

内 容： 7月4日(土)~5日(日)に、京都駅ビル南北自由通路75㎡で観光PRを実施する予定。眼鏡・漆器・レッサーパンダ・西山公園やふるさと納税に加え、公共交通のPR(福鉄のジオラマ等)を行う。

5 産業観光ツアーでの福武線利用

内 容： 11月頃に実施予定の関西からの産業観光ツアーに、福武線貸し切り電車への乗車をコースに組み込み、鉄道を観光資源としてPRする。